ドローンを活用した河川巡視・点検への適用検討会 設立主旨

近年の急速な技術革新に伴い、各分野でドローンの普及及び利活用が進んでいる。 その中でもカメラ搭載型のドローンは取扱や操縦が複雑でないこと、カメラの性能 が良いことから広く普及しており、河川分野においても、気候変動に伴う洪水の頻 発化・激甚化や担い手確保等の自然的・社会的背景を踏まえ、河川管理の高度化・ 効率化を目指し、一部河川では、カメラ搭載型やレーザー搭載型のドローンを用い た河川巡視・点検が試行実施されている。

また、航空法の改正により、自律・自動のドローンによって河川を縦断的に連続 して飛行することが可能となっている。

一方で、ドローンにより河川の上下流を縦断的に連続飛行し、画像やセンサーデータをリアルタイムで伝送し、AI等によって自動解析するまでの河川巡視の一連をドローンに置き換えるには、ドローン機体の開発状況等を踏まえ、段階的に実施せざるを得ない。

これらドローンを巡る機体開発や解析技術等を整理し、ドローンを活用した河川 巡視・点検を段階的に実装するため、学識経験者及び関係団体を含めた検討会を設 置し、技術的な検討・助言を「ドローンを活用した河川巡視・点検の手引」に反映 させることを目的として「ドローンを活用した河川巡視・点検への適用検討会」を 開催する。